

図書館だより10月号

北島中学校図書館

10月27日からは秋の読書週間が始まります。

今年の標語は『最後の頁を閉じた ちがう私が出た』です。本の世界には、私たちの生きる世界が舞台の物語もあれば、違う世界が舞台の物語もあります。どちらにしても、読んでいる私とは「ちがう」世界の中で気づけたこと、考えたことがあるのではないのでしょうか？気づきこそ変わるための第一歩です。この機会に、普段は読まないような本にチャレンジしてみませんか？

図書室では、おすすめの本紹介の展示を秋の読書週間中も続けるのでぜひ見に来てください！

10月11日～13日は中間テスト前のため休館しています。



今回は、図書委員さんの「おすすめの本紹介」で、多く紹介されていた本を紹介します！

『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』

この本には、たくさんの駄菓子が登場します。訪れたお客様に合った駄菓子を提供する銭天堂の女主人の紅子。幸も不幸もお客様の行動次第、今日はどんなお客様がやってくるのでしょうか？

『5分後に意外な結末』

読んでみると、最後で意外な結末を迎える話がたくさん載っています。

さらっと読めてしまうので、読書が苦手な方や読みたい本がないという人にオススメです。また、1話完結なので、どこからでも読めるのも特徴です。

『発見！マンガ図鑑 NHK ダーウィンが来た！』

NHKの人気番組『ダーウィンが来た！』を漫画化した本です。生き物がどういう風に生活しているのかがよくわかります。漫画をわかりやすく解説したコラムも載っていて、勉強にもなります。生き物について知りたい方にオススメです！



文化祭で生活科学部の劇や展示でSDGsに興味を持った人もいるのではないでしょうか。しかし、SDGsには、17の目標があったり、複雑な問題をテーマにしていたりするので、知りたい！と思っても手が出しにくいという人もいます。そんな人におすすめの本が図書室にあります！

・目で見るとSDGs時代の環境問題

生活科学部がテーマにしていた「海のプラごみ問題」について知ることができるだけでなく、他の森林破壊や公害などについても書かれています！絵があるので、何が問題なのかイメージしやすい1冊です。

・マークで学ぶSDGs シリーズ

これは、以前の図書だよりでも紹介した本ですが、学校・街・家で気軽に使っているモノがSDGsに関係していることを知る・見つけることで、SDGsは、私たちの生活とかけ離れたものではなく、身近にあるものだと感じることができると思います。



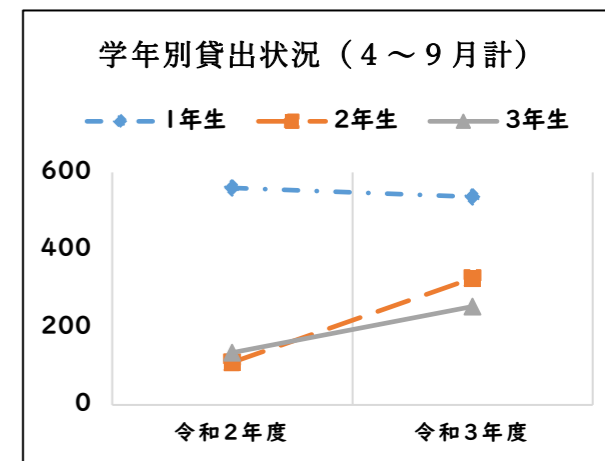
令和3年度 9月の貸出ランキングより

順位	書名	著者
1位	日本語を味わう名詩入門 19	谷川 俊太郎
2位	人狼サバイバル 1	甘雪 こおり
3位	薬屋のひとりごと	日向夏
4位	わたしの幸せな結婚	顎木 あくみ
5位	人狼サバイバル 2	甘雪 こおり

今月の第1位は注目です。詩の本が第1位になったのは初めてではないでしょうか。もちろん、その事自体も喜ばしいですが、お伝えしたいのは、図書の貸出し状況に変化が見えはじめたことです。

これまでは、話題の図書が入荷すると断トツ1位になり、人気が集まる傾向にありました。ところが、ここ数ヶ月のデータによると、1冊の回転数は低いものの、幅広い分野に渡り、様々な図書が貸出しされています。それぞれが、色々なところに興味を持ち、深めていく、そのお手伝いが出来ればと思います。

また、例年の利用者は1年生が多く2、3年生は少なかったのですが、学年による差がなくなってきました。読書週間が始まりました。違う自分に出逢いに行ってみませんか？



様々な顔を持つ作家 谷川 俊太郎

「ぼくが目になろう」

この言葉を聞くと、黒くて小さなお魚の話の思い出する人が多いのではないのでしょうか。「スイミー」(レオ・レオニ作)という絵本の中のセリフです。この作品は、元々英語で書かれたもので、実は皆さんが小学2年生で勉強したものは日本語訳版です。訳したのは、谷川俊太郎さんという翻訳家です。しかし、谷川俊太郎さんはただの翻訳家ではないのです。なんと、翻訳家に加え、絵本作家、脚本家、そして詩人でもあります。今日は、詩人 谷川俊太郎さんに着目し、作品を紹介します。

「詩」と聞くと、とても難しいものをイメージするかもしれませんが、しかし、谷川俊太郎さんの詩には、こんな愉快な詩があります。

かっぱ 谷川俊太郎
かっぱかっぱらった
かっぱらっぱかっぱらった
とってちった

かっぱなっぱかっぱ
かっぱなっぱいっぱかっぱ
かっぺきってくた

かっぱの詩です。ぜひ、声にだして読んでみてください。
1回でうまくよめますか？思わず声に出して読んでみたくなる不思議な詩、しかし実際に声に出して読もうとすると、なんとも難しいですね。谷川俊太郎さんの作品には、このような言葉遊びの詩がいくつもあります。
詩は、どの言語でも韻を踏むことが多いです。声に出し、音にすることでさらに面白さを感じられます。また、詩は「凝縮した感情表現」とも言われ、様々な思いが込められています。
是非、どんな思いが込められているのか想像し、そのリズムを感じて、お気に入りの一編を見つけてみてください。

